

第 79 回原子力委員会定例会議議事録（案）

1. 日 時 1997 年 12 月 15 日（火）10:30～11:05

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員、依田委員
（事務局等）伊藤原子力調査室長
池本専門委員
柴田核融合開発室長
原子力調査室 新井、宇賀地

4. 議 題

- （1）第 8 回 ITER 計画懇談会の結果について
- （2）その他

5. 配布資料

- 資料 1 第 78 回原子力委員会定例会議議事録（案）
- 資料 2 第 8 回 ITER 計画懇談会の結果について

6. 審議事項

- （1）第 8 回 ITER 計画懇談会の結果について

議記の件について、事務局より資料 2 に基づき、会議の概要等について報告があった。

これに対し、委員より、

- ・エネルギー政策上の位置付けについては、他の懇談会等でも同じような議論があり、委員会として統一的に扱うことが必要かもしれない
- ・ITER 計画には日本が 4 極の一つとして参加している。4 極の一つとしての日本の役割についての議論があった後に、ITER 建設の話があるべきである。現時点は、誘致決定の判断をする時期ではなく、中間報告では ITER 計画の意義や日本の役割に重点を置くべき
- ・中間報告をまとめるには、懇談会で幅広く出ている意見の整理が必要。焦点を絞っておくべき
- ・懇談会は、ある程度の自由な発言や色々な意見があるのは自然であるが、中間報告を出す必然性があるのかも踏まえてとりまとめを考えるべき
- ・とりまとめをするのであれば、3 年間延長の意味について日本の考え方を示すことは意味がある
- ・4 極の状況はすでに異なっており、今後 3 年間でさらに状況変化があり得るのではないか
- ・中間報告については、座長とよく相談の上、また柔軟性に配慮してまとめてほしい

等の意見があった。

- （2）議事録の確認

事務局作成の資料 1 第 78 回原子力委員会定例会議議事録（案）が了承された。